

【NEWS RELEASE】

2021年8月31日

各 位

株式会社三井住友フィナンシャルグループ

温室効果ガス排出量ネットゼロへのコミットメントについて

株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、当社グループを総称して「SMBC グループ」）は、2030年までに SMBC グループ自身が排出する温室効果ガス（Greenhouse gas/GHG）をネットゼロとすることに加え、2050年までに投融資ポートフォリオ全体での GHG 排出量をネットゼロとすることへのコミットメントを公表します。

SMBC グループは、2021年5月、2050年カーボンニュートラルに向けた気候変動対策の行動計画として「気候変動対策ロードマップ」及び「アクションプラン」を公表しています。

アクションプランでは、自らが排出する GHG を 2030年までにネットゼロにすることをしています。一方、アクションプランにおける主要施策の一つである投融資ポートフォリオ全体の GHG 削減については、2050年までに GHG 排出量をネットゼロにする目標を掲げるお客さまが増加しており、カーボンニュートラル実現に対するお客さまの理解も徐々に進展しつつあります。

そのため、SMBC グループは、脱炭素社会の実現に向けたより強い姿勢を示し、行動していくことが必要と考え、本日公表する「SMBC グループ TCFD レポート 2021」の中の CEO メッセージにおいて、「パリ協定の目標に沿って、2050年までに投融資ポートフォリオ全体での GHG 排出量のネットゼロを実現すること」を新たにコミットします。

これにより、2050年までに自らの GHG 排出量に加え、投融資ポートフォリオ全体でもネットゼロを実現することにコミットすることになります。

SMBC グループは、サステナビリティ宣言に基づきお客さまをはじめとするステークホルダーとの対話を重ね、共に行動することにより、サステナビリティの実現に積極的に貢献してまいります。

以 上